

Hello! Baby・kids

1月生まれ

3月生まれの子どもを募集中 -3月号掲載-

- 対象 町内に住み、3月で1歳～3歳になる子ども
- 申し込み 1月15日(水)までに投稿する写真・住所・親子の氏名(ふりがな)・子の生年月日・電話番号・子どもへのコメント(22文字以内)・広報おかがきへの意見を広報情報課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出

おのしげと
小野維人ちゃん(1歳)
平成31年1月22日生まれ(新海老津)
ねえね・にいにと元氣いっぱい
仲良く過ごしてね♡



きむら はなね
木村花音ちゃん(1歳)
平成31年1月12日生まれ(緑ヶ丘)
はなちゃん一歳のお誕生日おめで
とう♡我が家の癒しです。



いけむとこり
池本琴琳ちゃん(3歳)
平成29年1月6日生まれ(松ヶ台東)
3歳おめでとうーあなたの明日
が晴れ渡るように♡



こがしお
古賀栞ちゃん(2歳)
平成30年1月17日生まれ(吉木)
2歳の誕生日おめでとう♡
人に優しく育ってね♡



いませとちや
今瀬智也ちゃん(2歳)
平成30年1月11日生まれ(吉木)
これからも元氣いっぱい
大きくなつてね♡



短歌・俳句・川柳

二般の作品

爺婆はピンピンころりおころりよ

孫からの電報二通祝敬老 馬場とき子

街路樹の枯葉乾きし音で駆く 井上アヤノ

父母妻とたまに会いたい夢枕 山村英之

幸せに生きよと逃がす冬の蠅 恵家健生

ぱつとする話の欲しき年志 小田和彦

秋晴れのまぶし陽射し身体を交わし 神谷かよ

脚立に立ちて松に挑戦 籾生照未

一人聞く虫の音色の儚さよ 嗚呼

真夜中の草の寝床に 石松清美

生きて行く事の意味など考える 眠れぬ夜の今一時半 早川京子

人生の百年時代の到来を 如何に生きるか老いを悩ます 橋本和子

冷やかに頬なでて行く秋風に 頂隠す城山の峰 南里和昭

大ジヨツキ軽い話が大好きだ 坂本美代子

軽い嘘ついて空気を入れ替える 廣渡憲峰

戸車の軽い動きに蹴躓く 野中よう子

啄木の母の軽さも知る浜辺 宇都宮福夫

岡垣川柳会

大ジヨツキ軽い話が大好きだ

軽い嘘ついて空気を入れ替える

戸車の軽い動きに蹴躓く

啄木の母の軽さも知る浜辺

野中よう子

宇都宮福夫

町の輝いている人や元気な人を紹介します



おおつか ゆうた
大塚 悠大さん

公園通り中区在住、岡垣中学校2年生。日本最大のボルダリング競技会「The North Face Cup」のグレード「Division Fun」で、全国2位の快挙を達成した。

日本代表まで「登りつめる」

Q ボルダリングを始めたきっかけは？

A 小学5年生のころ、「雨の日でも楽しめるスポーツ」を探してボルダリングを知りました。昔からサッカーや水泳など、体を動かすのが好きでしたし、面白そうだったのですぐにジムに通い始めました。現在は「OD宗像」をホームジムとし、県内外のクライミングジムで週5回程度練習しています。

Q ボルダリングの魅力は？

A 難しいコースを登り切ったときの達成感です。ボルダリングは、決まった色や数字のホールド（突起物）を使って壁を登る競技です。コースの難易度が上がると、手や足を掛けられるホールドが限られてくるため、より頭を使って登る必要があります。失敗して落ちてしまうときの恐怖はありますが、試行錯誤を繰り返して登れたときはボルダリングの楽しさを改めて感じます。

Q 今後の目標は？

A 来年も「The North Face Cup」に出場して、もっと高いグレードで戦えるように技術を磨きます。また、ボルダリングは2020年からオリンピック競技になるため、いつかは日本代表選手になりたいです。



▲手はもちろん、足の使い方も重要です

研究会に参加しませんか

岡垣町の古墳時代を知ろう

町の古墳時代後期の集落構成を一緒に考えてみませんか。

内容

- 研究発表 「岡垣における古墳時代後期の集落構成」発表者：轟次雄
- ビデオ鑑賞 「日本の世界遺産（京都の文化財Ⅱ）」

対象 誰でも可

とき 令和2年1月25日(土)午前9時15分～正午※受け付けは9時から

ところ 地域交流センター会議室

費用 200円※資料代

問い合わせ 岡垣歴史文化研究会(入江) ☎ 282-6380



▲糠塚の古墳時代の遺跡群の一部

募集 町民ふれあい広場では、お知らせ、サークルなどの紹介、イラスト・写真、俳句・短歌・川柳などを募集します。※営利・政治・宗教に関するものなど、掲載できないものもあります。

申し込み 掲載号の前々月15日(3月号は1月15日(水))までに住所・氏名・電話番号・原稿などを広報情報課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出※応募多数のときは抽選

「サンリーアイ俳句会」
望郷のジャガタラ娘秋驟雨 沼田捷子
温め酒酌む友若き日にかへる 廣渡務
目印は新そば幟枯の里 宮本比佐子
空と海溶け合ふ岬雁わたし 力丸ツヤ子

「言嶺岡垣俳句会」
風吹くと生絹のごとき蕎麦の花 岩崎要子
房総より渡り来し蝶秋閑くる 天本睦子
ザビエルの胸の十字架小鳥来る 青竹町子
岸原邦代

「岡垣短歌教室」
診察待つ弟の背はさみしそう 笑顔でポンと肩たたきやる 石田眞智子
開会式の来賓のスピーチ短かくて みんなあつぱれ さあお祭りだ 神屋真弓
戸切の野にアサギマダラの舞う姿 世代を残し南に飛びゆく 御領園久美子
母の好きにさせたらいいと弟は 言ってくれるねまかせつきりです 黒瀬里美

【お詫びと訂正】

広報おかがき 12月号の19ページに掲載した「2019福岡県短歌大会で私たちの歌が選ばれました」の内容に一部誤りがありました。訂正してお詫びします。

- 【短歌・本文7行目】 正：取り敢えずそこにあるもの 誤：取り敢えずそこにある
- 【人名・本文10行目】 正：植村隆雄 誤：上村隆雄